

## 第24回参議院議員通常選挙の公示日に当たっての 福井県選挙管理委員会委員長談話

本日、参議院議員通常選挙の投票日を7月10日とする旨の公示がなされました。

今回の通常選挙は、依然として厳しい社会経済情勢の中において、私達の暮らしやわが国の今後の進路を決定する上で、極めて重要な意義を持っています。

そのような中、今回の通常選挙から、選挙権年齢が満18歳以上へ引下げられ、本県においても18歳、19歳の若者15,923人が新たに有権者に加わることとなるほか、選挙人名簿の登録制度の見直しや投票所に入ることができる選挙人の同伴する子供の範囲が、幼児、児童、生徒その他の18歳未満の者に拡大されるなど有権者の投票環境の向上が図られています。

有権者の皆様におかれましては、自分達の代表者を選ぶ重要な選挙であることを十分認識されて、選挙公報や政見放送をはじめ、演説会やインターネットによる選挙運動等を通じて、候補者の人柄や政見、政党の政策を見極め、自らの自由な意思と判断によって日本の将来を託するにふさわしい候補者および政党に貴重な一票を投じられるよう切望します。

また、投票日当日に、学校や仕事、旅行などで投票できない方は、期日前投票ができますので、こうした制度を十分活用し、大切な一票を棄権することなく行使されることを期待します。

なお、候補者および選挙運動にたずさわる方々におかれましては、ルールを守ったきれいな選挙を展開され、有権者の信頼と期待に応えられるよう願います。

さらに、各市町選挙管理委員会におかれましては、選挙の管理執行に当たって、厳正かつ公平を旨として万全の体制で臨んでいただくとともに、明るい選挙の推進と投票総参加への呼びかけに御尽力をいただきますようお願いいたします。

平成28年6月22日

福井県選挙管理委員会  
委員長 熊澤 喜八郎